

平成30年度 第6回 運営推進会議開催報告書

会議名	大野和光園和らぎの里運営推進会議
施設名	指定地域密着型介護老人福祉施設 大野和光園和らぎの里
サービスの種類	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
会議開催場所	指定地域密着型介護老人福祉施設 大野和光園和らぎの里 地域交流スペース
開催日時	平成31年3月27日(水) 13:30~14:30

<運営推進会議出席者>

利用者の家族 (1名)
地域住民の代表者(春日三丁目上区区長)
地域住民の代表者(大野地区民生児童委員)
大野市民生環境部 健康長寿課

<施設職員出席者>

和らぎの里施設長
介護課長補佐
介護支援専門員 (会議録作成)

<議事録>

1. 和らぎの里 施設長挨拶

2. 活動報告について

- ・利用者状況についての説明
- ・入院、入退所についての報告
- ・行事活動状況についての報告
- ・事故報告書について詳細説明

紛失	1件
物損	1件
皮膚剥離	2件
転倒	2件

3. 活動報告への質問や意見、その他意見交換

☆Q 男女の平均年齢差は少ないですね。入居者の男女の割合は？

A 男性8名、女性21名。男性にも90歳以上の高齢の入居者がいる。

☆Q 介護職員へのパワハラが多いという報道があったが、高齢の人の方がパワハラをすることが少ないのでは。パワハラのことを考慮すると入浴は2人で対応するといいのは。同性介助を行っているのか。

A 入浴は個浴にて1対1で行っている。同性介助等利用者のニーズに合わせて配慮している。

☆Q 飲酒、喫煙はできるのか。

A 現在の入居者に喫煙者はいない。

以前ショート利用者が喫煙する場合、付き添いの元玄関で喫煙していただいた。

飲酒は病気等の理由で制限がない利用者は可能。以前、家族が作った梅酒を毎日飲んでいた入居者がいた。

☆Q ターミナルケア研修とはどんなものか。

A ターミナルケア(看取り介護)とは医師より終末期(看取り期)と判断された方への介護で、静かな環境でその人の尊厳を守りながら、その人らしく過ごせるような介護のことである。その介護を実践するために必要な概念や介護職の役割等を本体施設看護師より説明を受けた。

☆Q 「介護ちょぼら」とは何か。

A 和光園が独自で行っている「介護支援ボランティア制度」のこと。

概要としては、高齢者の介護支援ボランティア活動実績を評価した上で、評価ポイントを付与し、当該高齢者の申し出により、当該評価ポイントを換金する制度である。

☆Q 「よつば会」とはどんなボランティアか。区長にハーモニカのボランティアを依頼するとよいと思う。

A 「よつば会」は話し相手ボランティアで毎月1回数名の訪問がある。

ハーモニカボランティアについては、以前お願いしたことがあり好評だったため、また是非お願いしたい。

☆Q ショートステイの空きはないのか。

A 定期的に利用されている方が多く、空きがないことが多い状況である。

☆Q 入所者の人数(定員)は増やせないのか。

A 和光園の定員を増やす計画はないが、大野市の計画では施設を増やす計画があると聞いている。

国は施設ではなく、最後まで住み慣れた在宅で生活していくことを方針としている。

4. その他

- ・健康長寿課より

行事や内外研修等積極的に取り組まれている。業務も大変だと思うが地域を支える役割をお願いしたい。

次回:平成31年5月22日(水) 13:30～ 開催予定